消防士の仕事は２４時間！１日の仕事スケジュール



各係事務・体力錬成

消防士は、体力が資本。事務作業が終わると、署内のトレーニングルームで、体力づくりを行います。マシンを使った筋力トレーニングや、体幹トレーニング等に取り組みます。

休憩・示達

夕食後に、示達の準備を行います。示達では、消防署と、白糠の南分遣所、野牛の北分遣所の３か所をオンラインでつなぎ、外部から届いた文書の伝達や、その日の出来事を共有します。

車両点検

朝同様に車両点検をします。

各係事務・各種訓練・教養（勉強会）

事務作業の他、レスキューや心肺蘇生（心臓マッサージ）の各種訓練を行います。

教養（勉強会）では、先輩職員が消防や救急に関する知識を、座学で教えます。

夜間勤務・仮眠

「その日の仕事は、その日のうちに終わらせること」を心掛け、担当する事務作業を行います。

事務作業が終了すると、業務に関する自主勉強や仮眠の時間。火災・救急の出動要請に備えます。

「私は、出動に備えて、活動服のまま、仮眠をとっています」

消防署・車両の清掃

まず、６時から消防署内のゴミ捨て等、清掃をし、７時半から、車両の清掃を行います。出動に使用した車両の車体や窓を洗って拭いてキレイにします。

事務引継・申し送り

引継を伝達して、次の２４時間勤務の職員に交代します。

車両、資機材点検、無線定時試験

車両点検は、朝夕の１日２回。朝の点検では、消防車のライトが正常に点灯するか、サイレンが鳴るか等を確認するほか、車両に積載している資機材が正常に動作するかを点検します。

予防業務・各係事務

火災予防に関する業務。**少量危険物**を扱う村内の施設を訪問して確認作業を行ったり、消火器の点検をしたりします。

少量危険物とは、引火する危険があるガソリンやアルコール類等で、多種にわたります。これらを設置する場合は、火災が起きないように、消防士が現場に行って、確認します。

私が、消防士として―。

大変だけど、自分にできることを見つける。

働く中で、大変だと感じることもあります。男性職員と比べると、筋力や体力の面で敵わない部分が多くて、悩むことも結構ありました。

だからこそ今は、自分にできることを見つけ、日々のトレーニングに励んでいます。消防士の仕事は、いつ、どんな出動があるか分かりません。そのため、日々の訓練はもちろん、先輩からの座学や自主勉強が大切だと感じています。また、仕事は想像していた以上に事務作業や各係の業務も多いです。火災や救急に関する知識だけでなく、火災予防業務等、覚えることはまだまだたくさんあります。

勉強しても勉強しても、追いついていないと感じるので**“毎日勉強”**です。

やりがいは「ありがとう」の言葉と、暮らしを守る責任



まだ、出動経験は少ないですが、救命で出動した時に**「ありがとう」**と言っていただいた時は、やっぱり嬉しいなと思いました。非番の日に、救命した方に偶然お会いして「あの時はありがとうございました」と声をかけていただいたこともありました。

村民の方の命や暮らしを守ることにつながっていると考えると、普段の火災予防等の業務も頑張ろうと思えます。“消防士は大変な職業”というイメージを持たれがちだと思いますし、実際、大変なこともいっぱいあります。しかし、それ以上に、**村民の方々の命や生活を守る**ことができることに、すごくやりがいを感じています。



✉消防士を目指すみんなへメッセージ

「消防士になりたい！」という思いがあるなら、性別に関わらず、なってほしいと思います。私自身、今後、出動する際や、予防業務等の姿を、みんなに見ていただける機会があると思うので「女性でも消防士になれるんだ！」と思えるような活動をしていきたいと思っています。

「なりたい！」って思ったら、頑張ってほしいと思います。